

ホースライニング工法

ホースライニング工法は、熱硬化性樹脂を含浸させた更生材料を既設のマンホールから既設の管渠内に加圧させながら反転挿入し、既設管渠内で加圧状態のまま熱硬化性樹脂を加熱硬化させることで、管渠の内面に新しいパイプをつくる反転工法です。

【性能】

管口径：φ150～1500mm

施工延長：150mまで

【特徴】

- ・曲がり部を含む、様々なパイプライン・管種に施工可能
- ・土地改良事業計画設計基準 設計「パイプライン」に準拠した強度設計が可能
- ・パイプラインの補強と耐震性の向上
- ・流下性能の向上
- ・施工安定性・耐久性に優れた、短時間施工可能な工法

